KIMOTO

2027年３月期 第１四半期 決算補足資料

株式会社 き も と

2026年７月30日

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2027年３月期 第１四半期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2027年３月期 第１四半期実績　前年比［連結］

■通信機器向け製品は新機種の量産開始により好調に推移し、電子部品製造工程用製品や産業機器向け製品も堅調に推移して売上・利益に貢献しました。輸送機器向け製品は欧州の自動車生産低迷の影響を受けたものの収益を維持しました。

単位：百万円

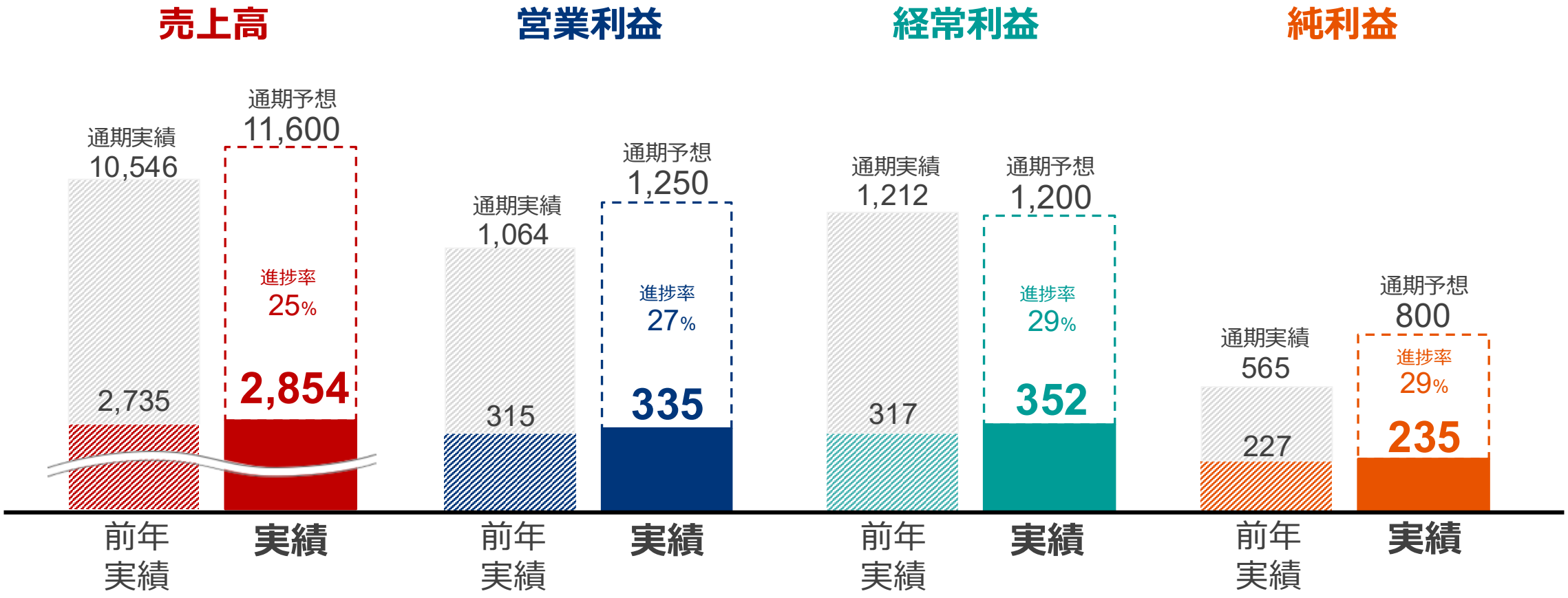
	2027年３月期 通期 予想	2027年３月期 第１四半期	2026年３月期 第１四半期	増減	増減率(%)
売　上　高	11,600	**2,854**	2,735	119	4.4
売上総利益	-	**1,128**	1,086	41	3.9
販売管理費	-	**793**	771	21	2.8
営　業　利　益	1,250	**335**	315	20	6.4
経　常　利　益	1,200	**352**	317	35	11.2
税引前利益	-	**346**	316	29	9.5
純　利　益	800	**235**	227	8	3.5
一株当たり純利益（円）	18.32	**5.40**	5.05	-	-

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年・予想比［連結］

■中東情勢の影響については一定程度織り込んだうえで業績予想を策定しておりますが、事業環境や需要動向を慎重に見極めながら予想通りの着地に向け、活動してまいります。

単位：百万円

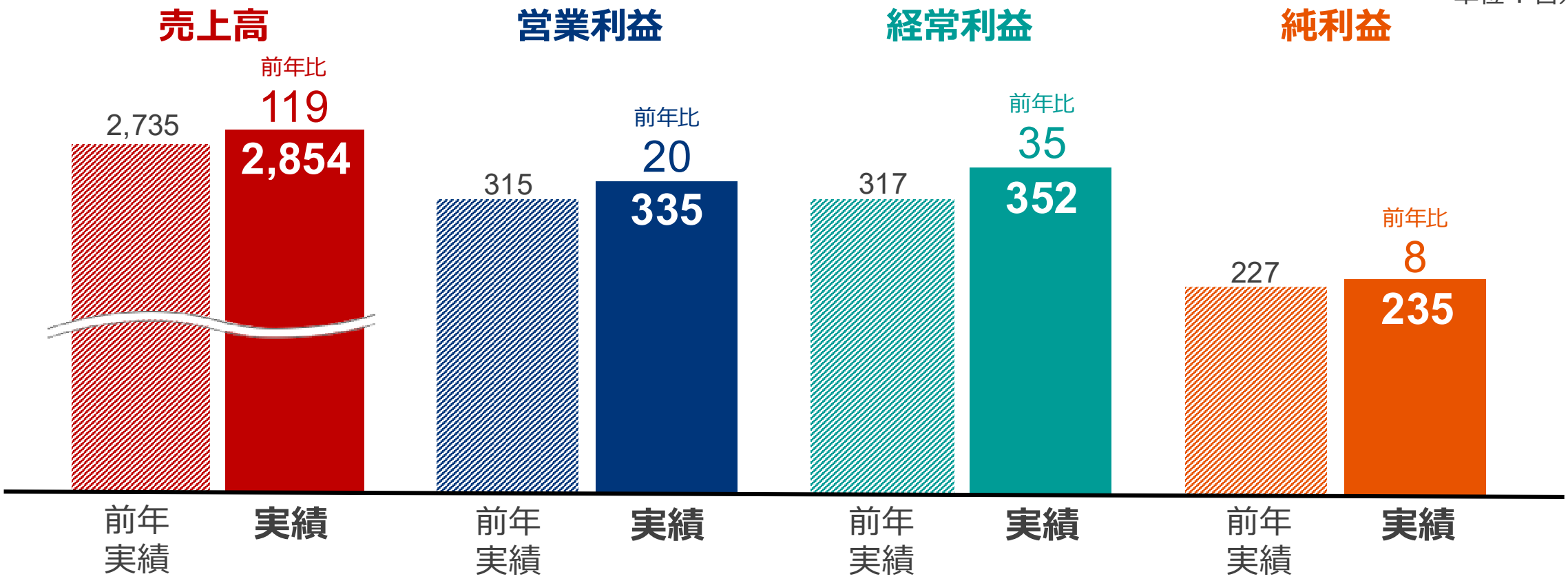


Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

損益計算書　前年比・主な変動要因［連結］

■通信機器向けの遮光製品・粘着製品をはじめ、輸送機器向け粘着製品や産業機器向けハードコート製品・遮光製品の販売が順調に推移し、売上・利益の拡大に貢献。価格改定前の駆け込み需要も収益を押し上げ、増収増益となりました。

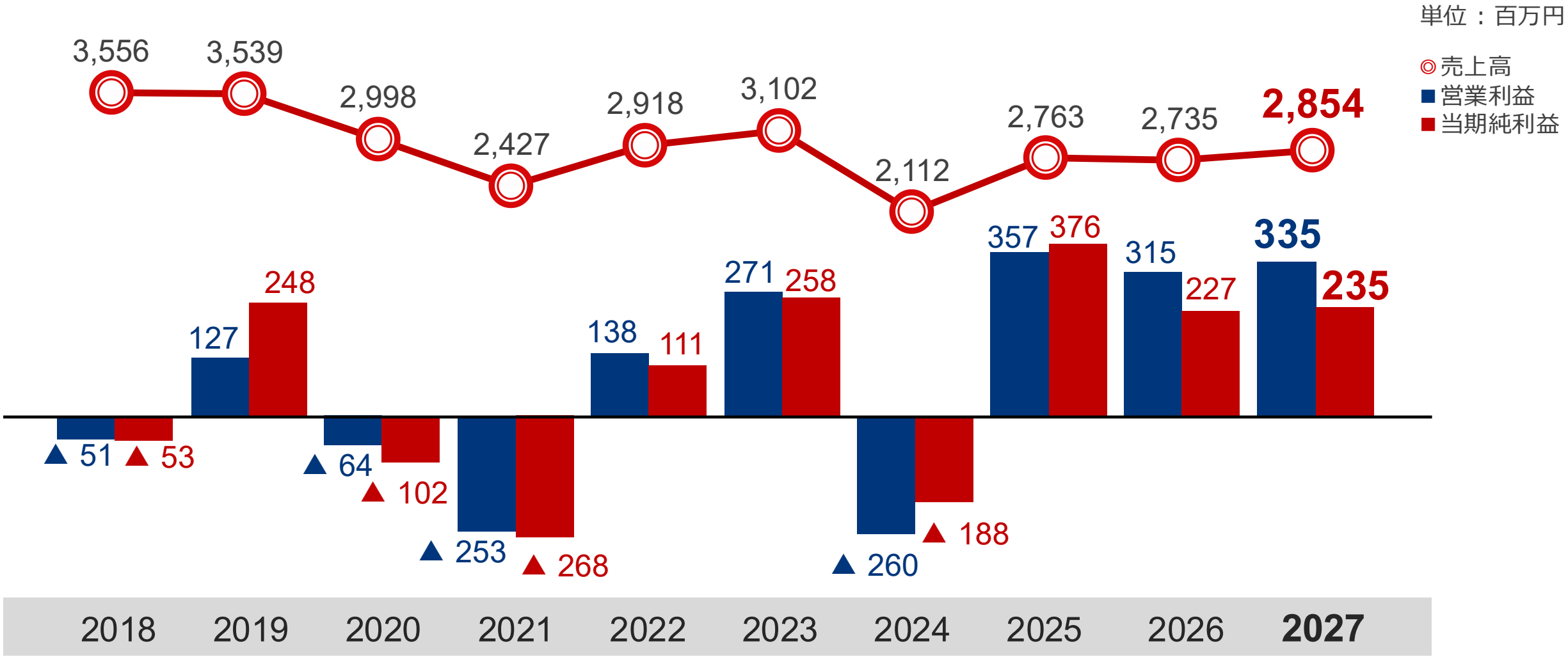
単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

売上高・営業利益・純利益［連結］ 2018年３月期～2027年３月期 第１四半期比較

単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
売上高	2027年３月期 第１四半期	2,652	229	83	28
		3% UP	49% UP	37% DOWN	182% UP
	2026年３月期 第１四半期	2,578	153	132	10
営業利益	2027年３月期 第１四半期	385	▲32	▲9	▲13
	2026年３月期 第１四半期	370	▲32	▲0	▲21

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTOグループトピックス

日本

通信機器向けは中国市場低迷の影響を受けたものの、新機種量産開始で遮光製品が順調に推移し、粘着製品も堅調に推移しました。電子部品製造工程用製品も堅調となりました。輸送機器向けにおいては粘着製品が着実に推移し、産業機器向けも順調に推移しました。

アメリカ

販売構成の見直しや新規顧客の開拓により、業績は前年同期比で回復基調となりました。今後も市場開拓や収益性の向上を進め、持続的な収益改善に取り組んでまいります。

スイス

白物家電市場には回復の兆しが見られる一方、自動車産業の低迷など厳しい事業環境が継続しています。このような状況の中、医療・エネルギー・FA分野を中心とした新規市場の開拓を推進し、業績回復に取り組んでまいります。

中国

LiDAR案件の受注減が続く中、トンネル内ひび割れ調査案件やソフト開発が堅調に推移し、業績改善に寄与しました。引き続き3Dモデル作成技術の開発を推進し、競争力強化と売上・利益の拡大による業績回復を目指します。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

単位：百万円

	2026年３月期 第１四半期	構成比	2027年３月期 第１四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	2,535	98.3%	**2,616**	**98.7%**	81	3.2%
通信機器	994	38.6%	**1,035**	**39.0%**	40	4.0%
輸送機器	514	19.9%	**597**	**22.5%**	83	16.1%
産業機器	480	18.6%	**537**	**20.3%**	57	11.9%
その他	545	21.2%	**447**	**16.9%**	▲ 98	▲18.1%
デジタルツイン事業	43	1.7%	**35**	**1.3%**	▲ 7	▲ 17.7%
3D	8	0.3%	**7**	**0.3%**	▲ 0	▲ 2.9%
2D	17	0.7%	**17**	**0.6%**	▲ 0	▲ 0.0%
コンサルティング	8	0.3%	**0**	**0.0%**	▲ 8	▲ 97.0%
その他	9	0.4%	**10**	**0.4%**	0	9.6%

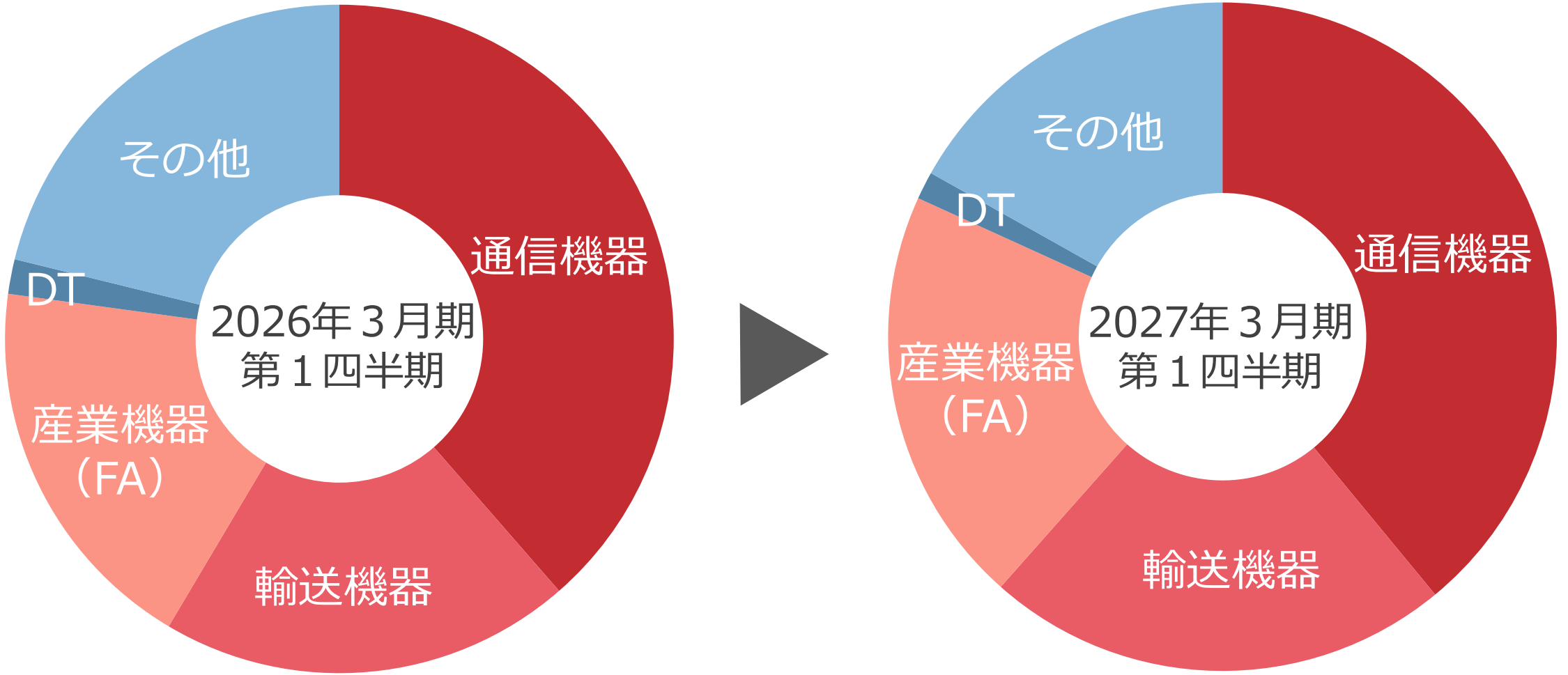
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】売上構成

■通信機器向け・産業機器向けが堅調、輸送機器向けは欧州での自動車生産低迷の影響を受けたものの、底堅く推移しました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

単位：百万円

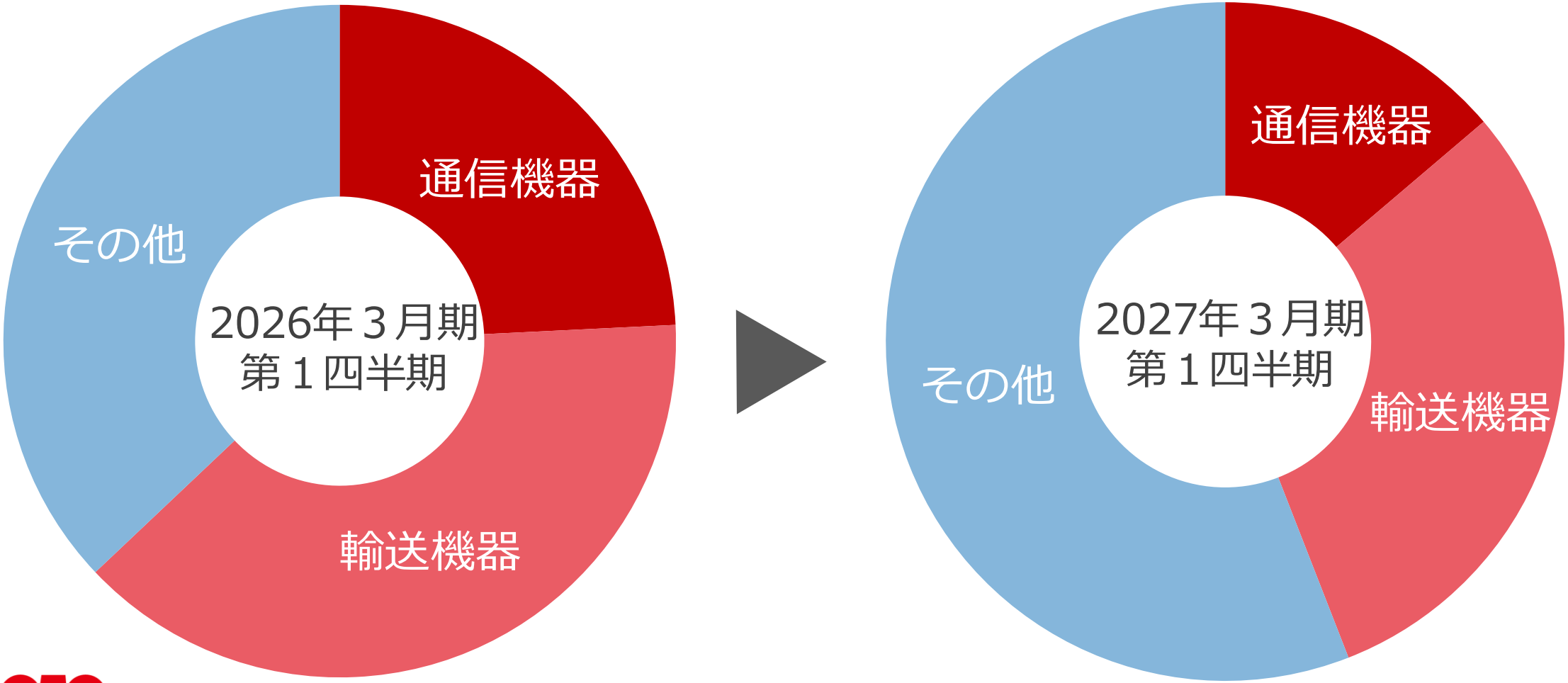
	2026年３月期 第１四半期	構成比	2027年３月期 第１四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	153	100.0%	**229**	**100.0%**	75	49.2%
通信機器	37	24.2%	**31**	**13.8%**	▲ 5	▲ 15.1%
輸送機器	59	38.7%	**69**	**30.3%**	9	16.8%
その他	56	37.1%	**128**	**55.9%**	71	125.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【アメリカ】売上構成

■販売構成の見直しや新規顧客の開拓により、前年同期に比べ業績が回復基調となりました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

単位：百万円

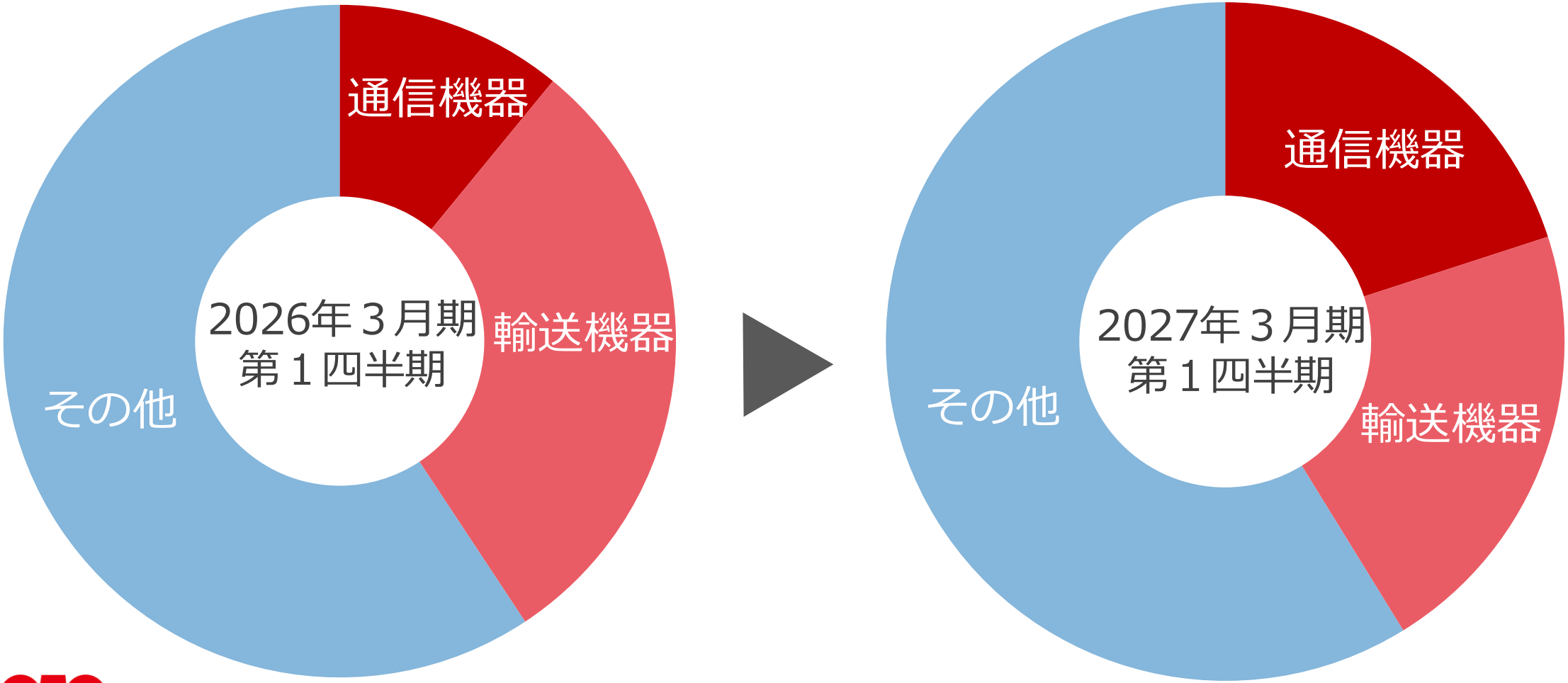
	2026年３月期 第１四半期	構成比	2027年３月期 第１四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	132	100.0%	**83**	**100.0%**	▲ 48	▲ 36.9%
通信機器	14	10.9%	**16**	**20.0%**	2	15.4%
輸送機器	39	29.8%	**17**	**21.2%**	▲ 21	▲ 55.1%
その他	78	59.3%	**49**	**58.8%**	▲ 29	▲ 37.5%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【スイス】売上構成

■白物家電は回復の兆しが見られるものの、自動車産業は引き続き低迷しています。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

単位：百万円

	2026年３月期 第１四半期	構成比	2027年３月期 第１四半期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	10	100.0%	**28**	**100.0%**	18	181.8%
3D	1	12.9%	**0**	**1.8%**	▲ 0	▲ 61.1%
2D	4	41.3%	**15**	**53.7%**	11	266.3%
その他	4	45.8%	**12**	**44.6%**	8	174.1%

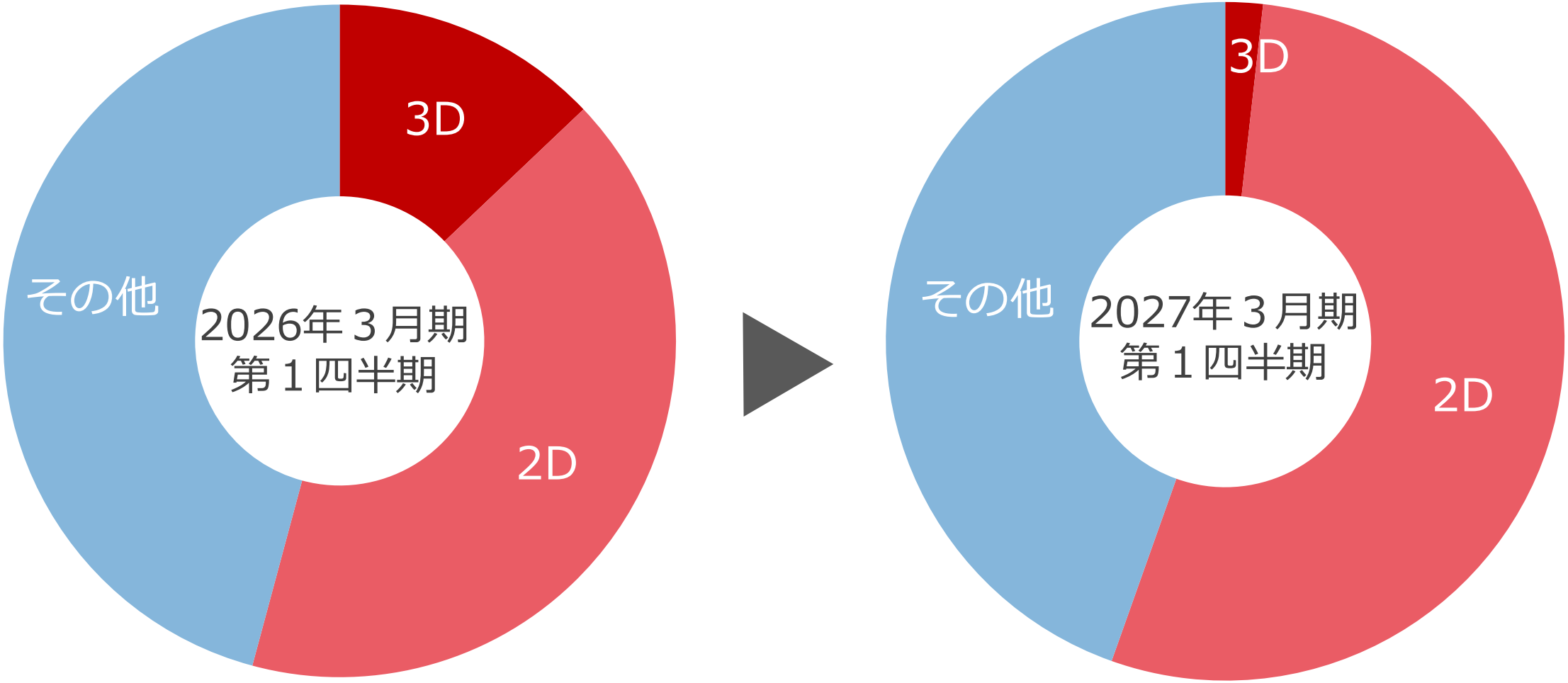
※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【中国】売上構成

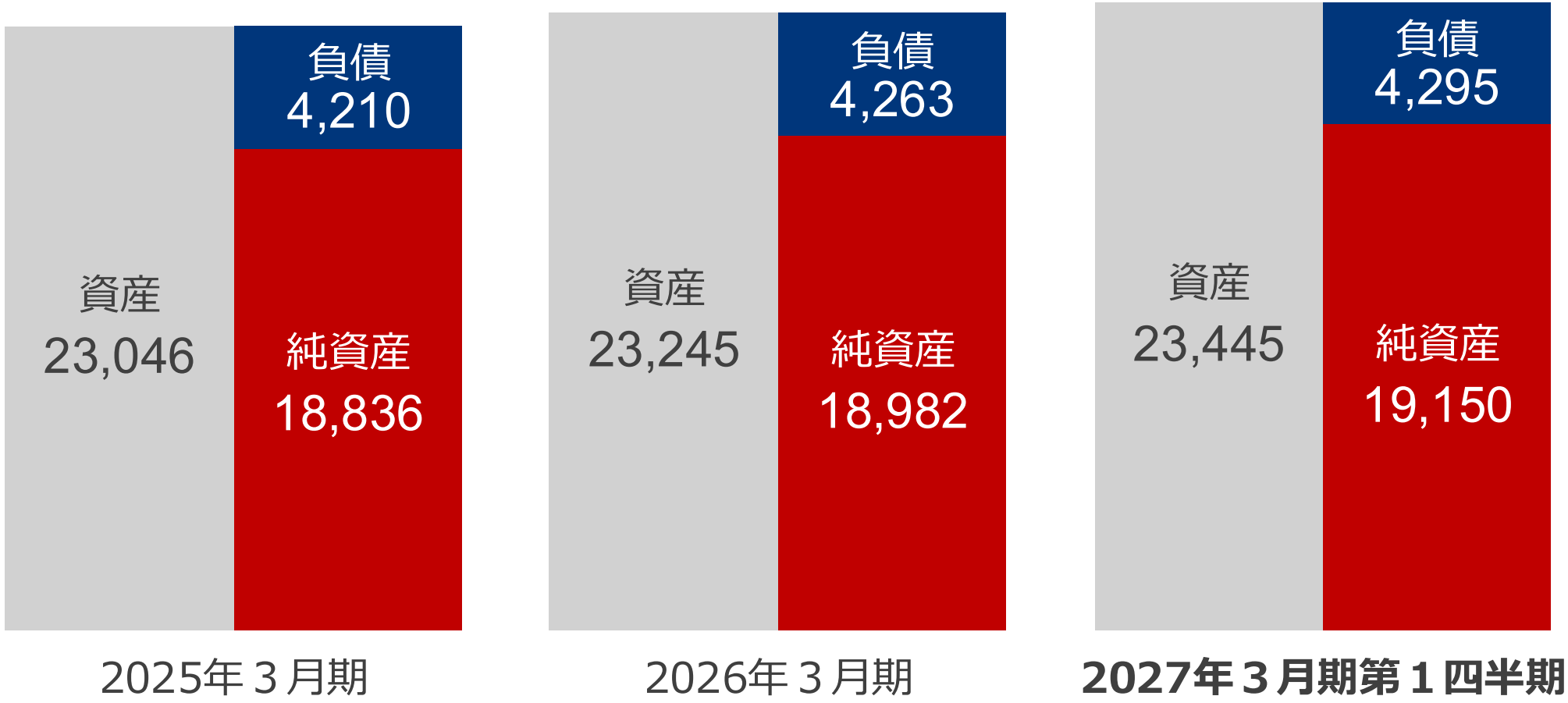
■LiDAR案件の受注減が続いているものの、トンネル内ひび割れ調査案件やソフト開発が順調に推移し業績改善に寄与しました。



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

貸借対照表［連結］

2025年３月期～2027年３月期 第１四半期比較



単位：百万円

2025年３月期　2026年３月期　**2027年３月期第１四半期**

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2027年３月期 第１四半期 貸借対照表［連結］ 主な変動要因

単位：百万円

資産

対前期末比
200

建設仮勘定
301

原材料及び貯蔵品
168

受取手形及び売掛金
137

現金及び預金
▲633

負債

対前期末比
32

設備関係未払金
228

買掛金
147

未払法人税等
▲164

賞与引当金
▲148

純資産

対前期末比
167

その他有価証券評価差額金
85

利益剰余金
61

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2027年３月期 第１四半期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

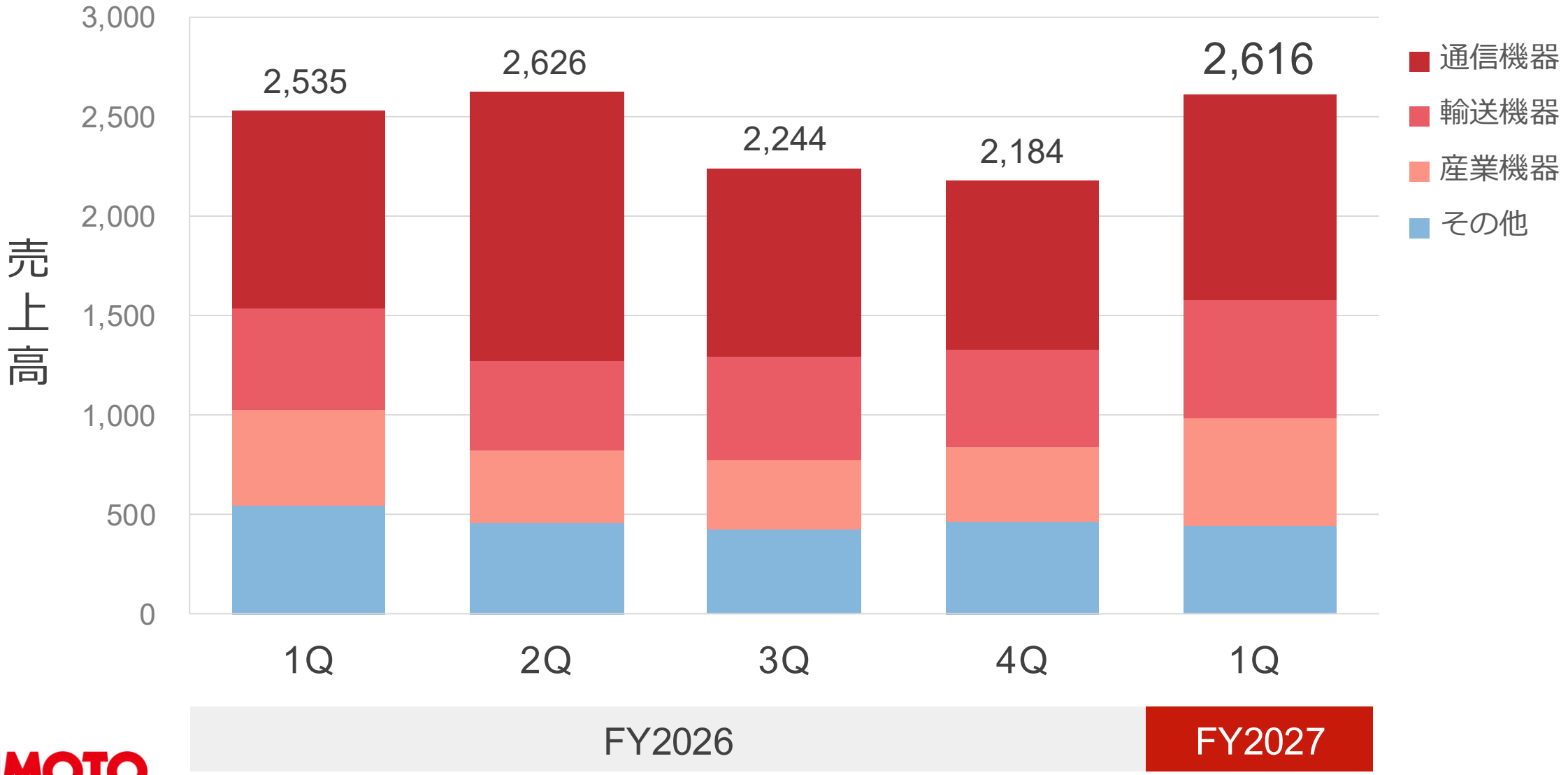
4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

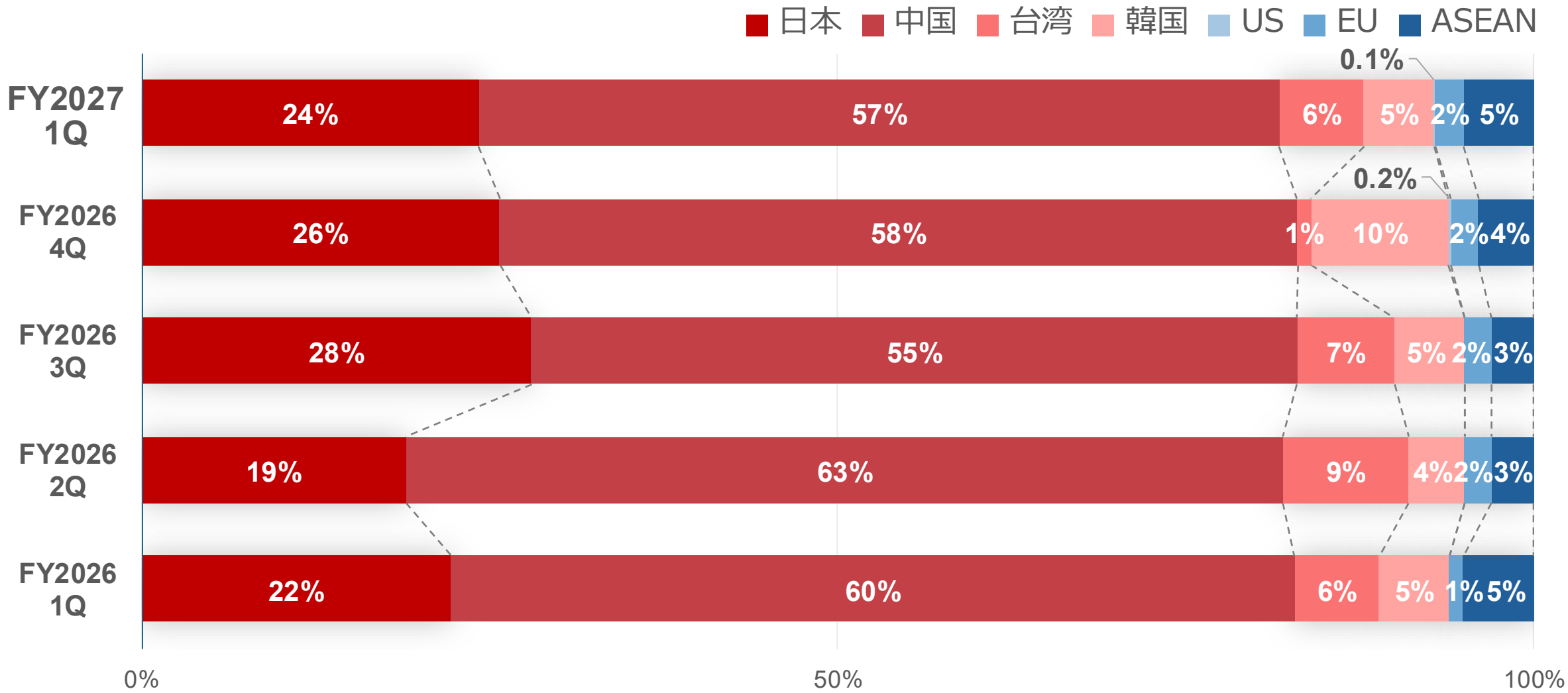
【日本】売上推移（四半期）

単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※

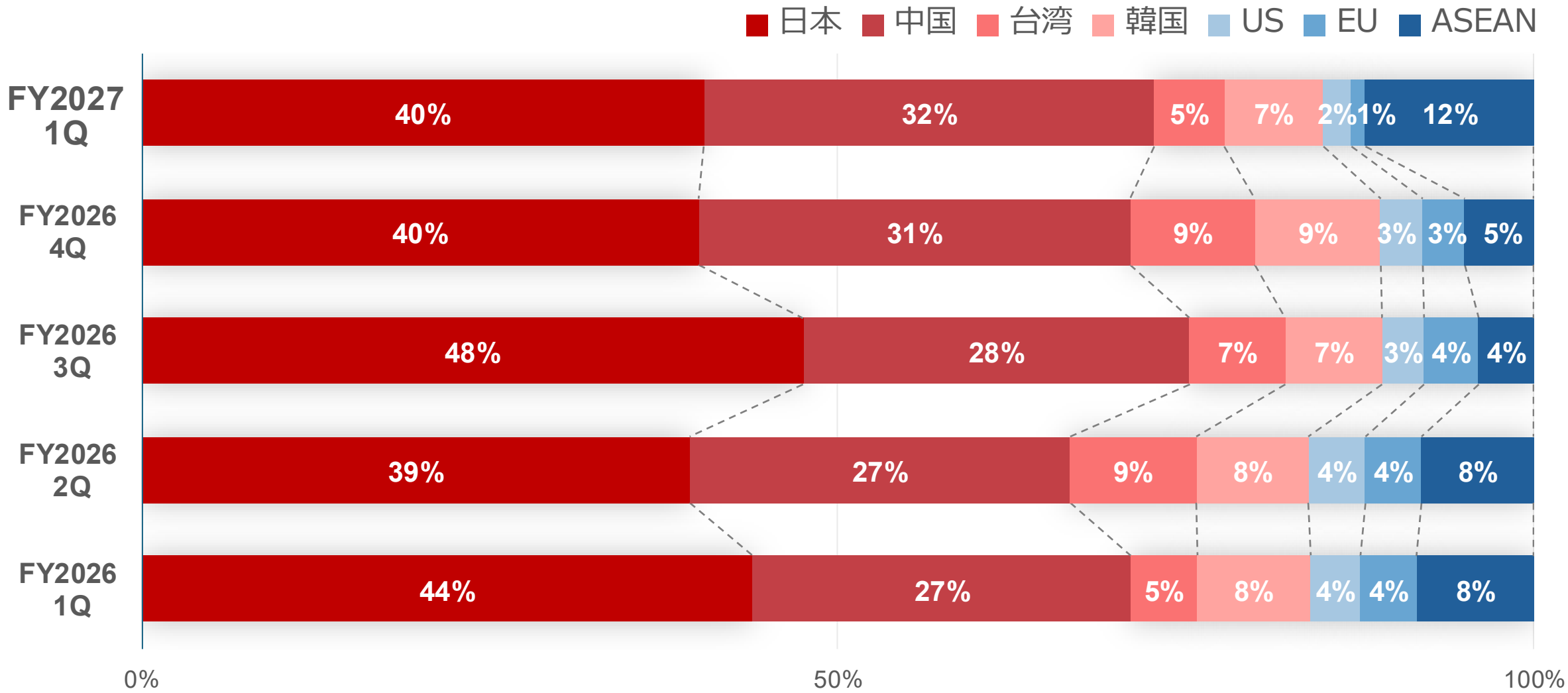


※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

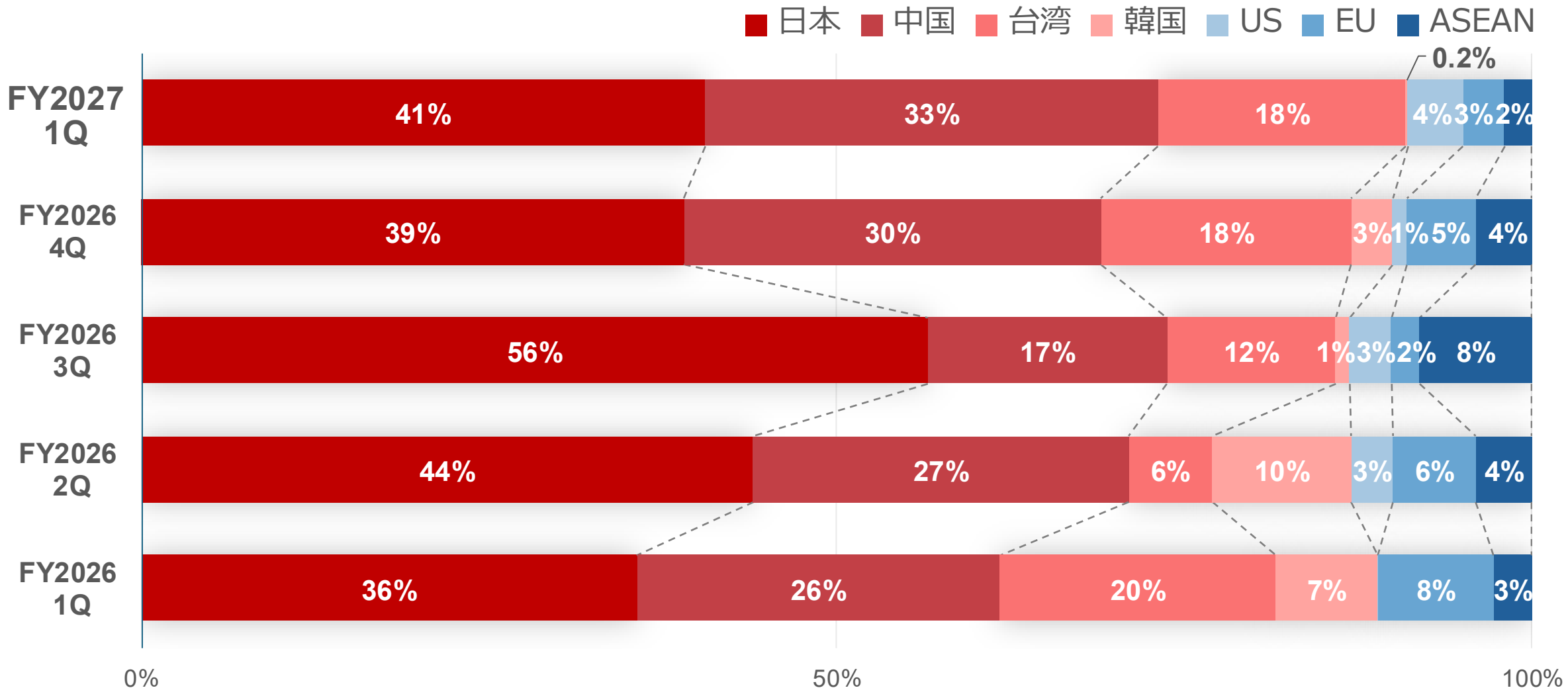
【日本】輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】産業機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

KIMOTO
Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2027年３月期 第１四半期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

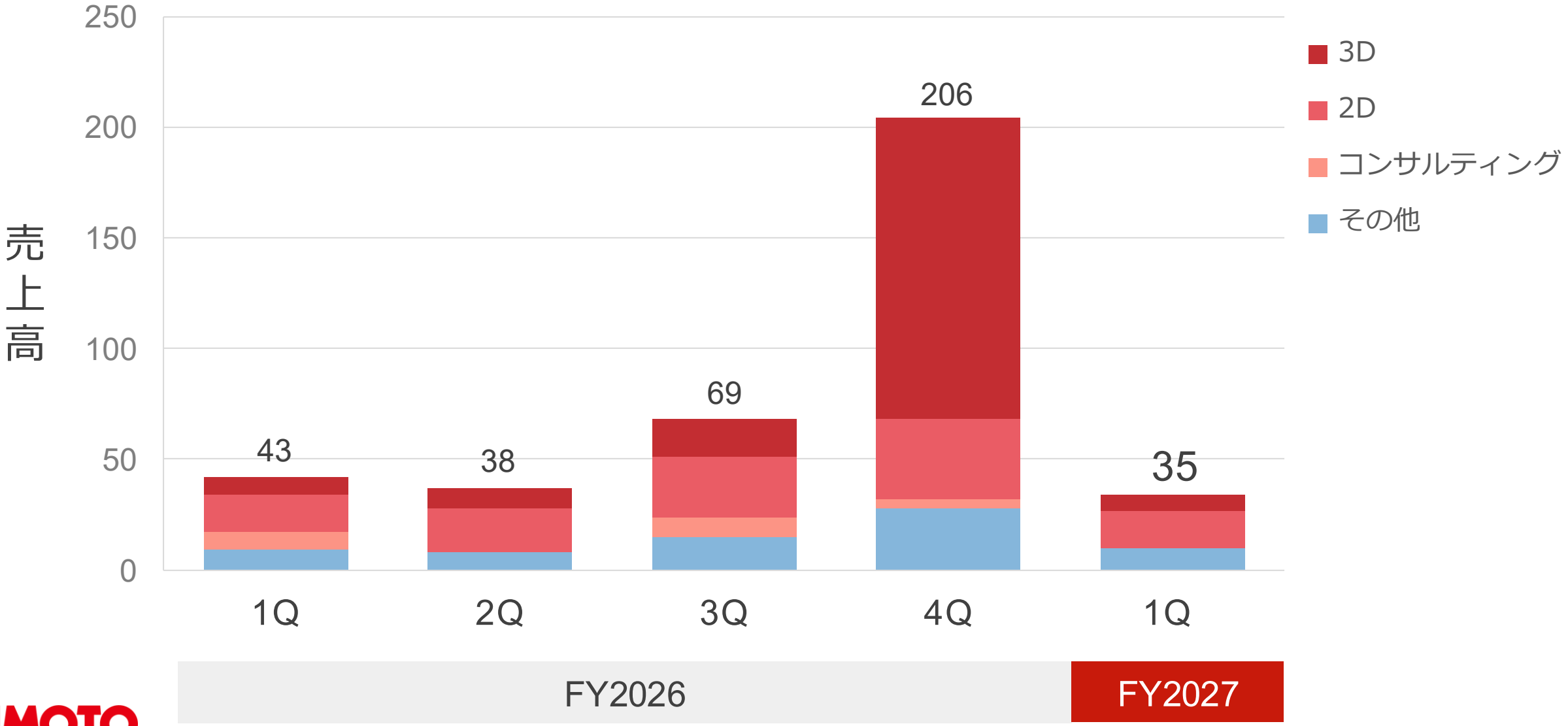
4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上推移（四半期）

単位：百万円

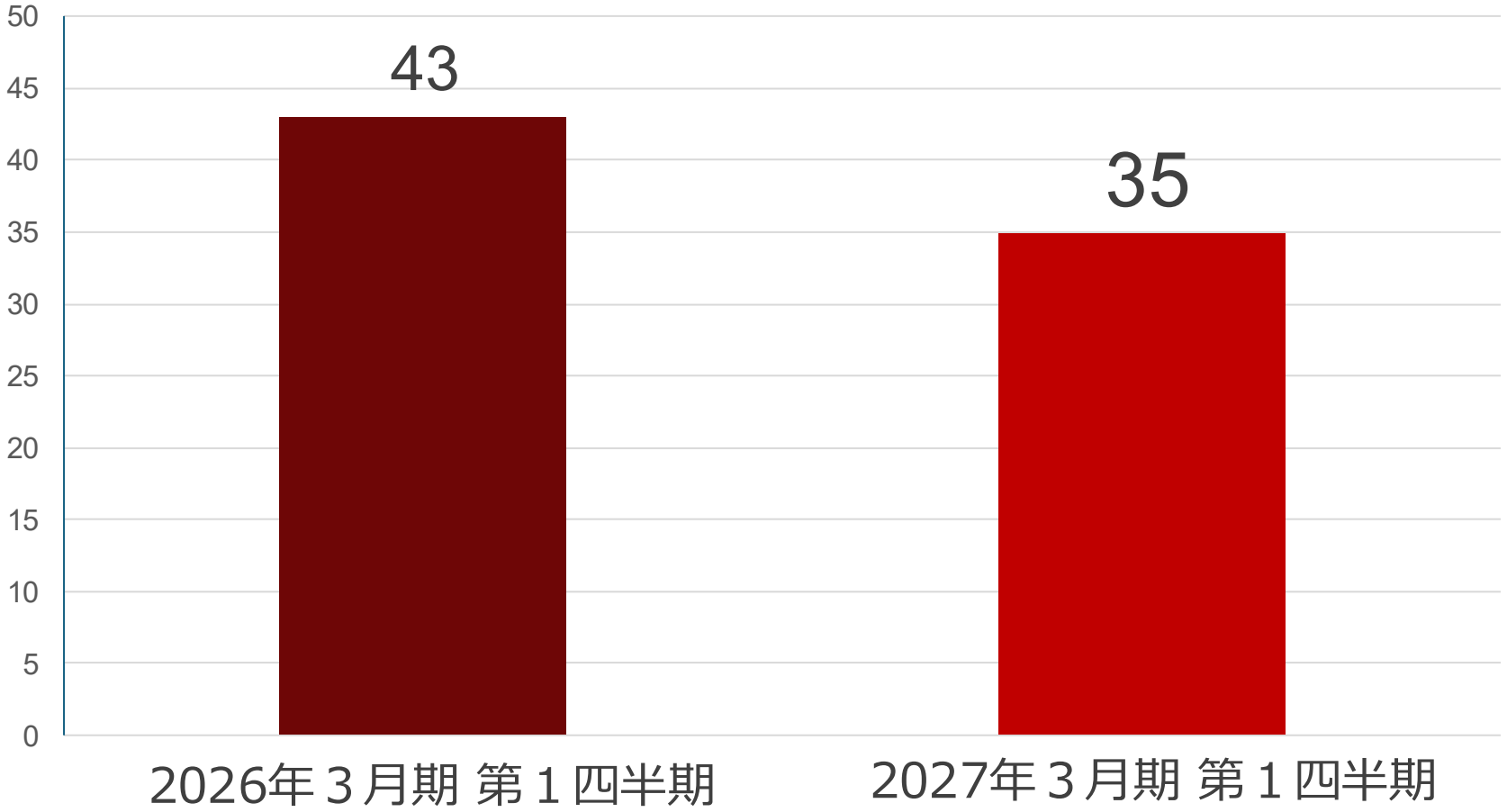


Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高

■建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」が伸長した一方、BIM/CIM案件は減少傾向にあります。

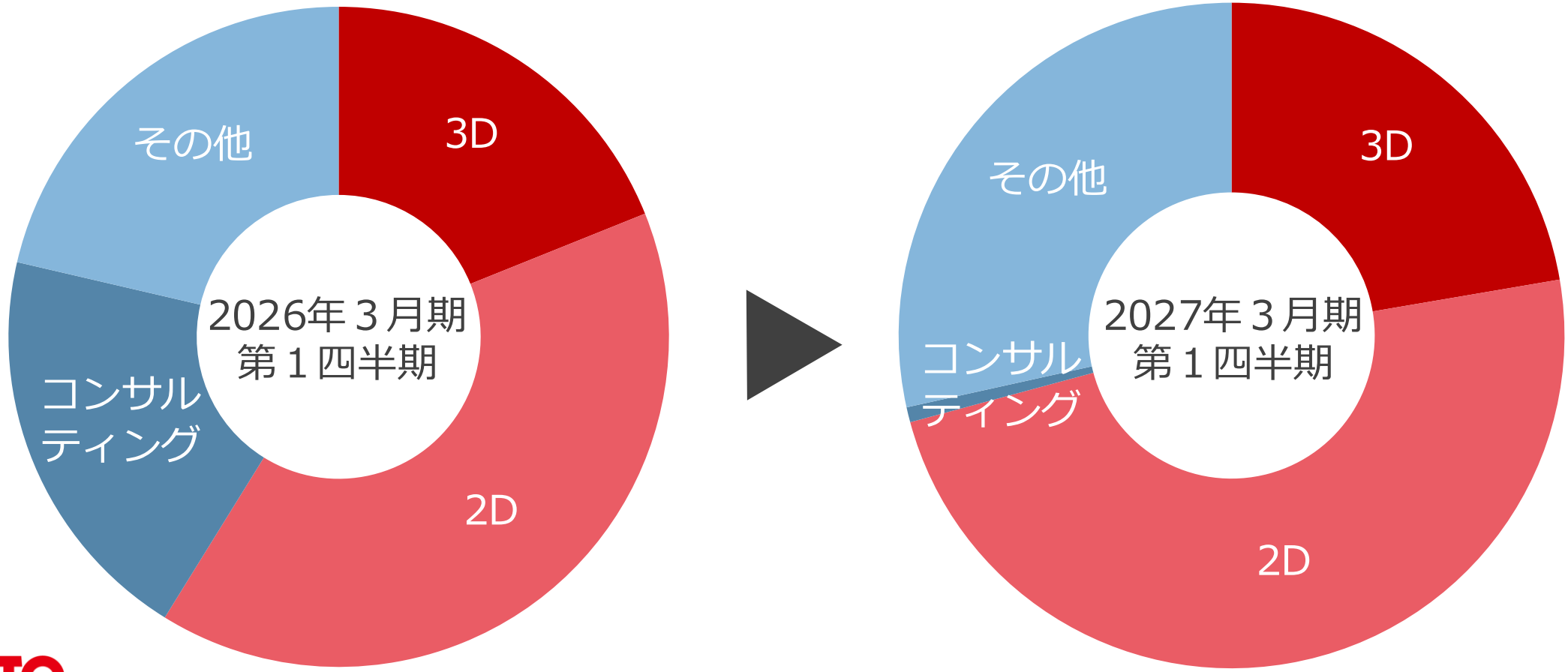
単位：百万円



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

【日本】デジタルツイン事業売上高構成

■建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」の新規案件や大型案件の受注を継続しています。また、2Dデータ作成ではトンネル内ひび割れ調査案件が堅調に推移し、売上に貢献しました。



KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2027年３月期 第１四半期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

5　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2027年３月期 第１四半期の進捗

事業成長

・デジタルツイン事業　2028年３月期売上高 1,000百万円（目標）

3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」は大型案件や新規案件の受注を継続し、着実に実績を積み上げています。従来技術では困難だった高品質なビジュアル表現が評価され、点群データからの切り替えに関するご相談もいただいております。

・高機能材料事業（半導体）2028年３月期売上高 400百万円（目標）

AIデータセンター関連需要の拡大を背景に、半導体分野における工程材料の販売が好調に推移しております。今後も市場ニーズを的確に捉えながら、注力分野として拡販を進めてまいります。

・高機能材料技術　2028年３月期新製品※ 寄与率12%（目標）※発売から３年以内の製品

マテリアルインフォマティクスを導入し、実験データを活用した材料特性の予測や処方設計の効率化を進めております。運用を通じて活用を拡大し、開発スピードの向上を目指してまいります。

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

2027年３月期 第１四半期の進捗

企業マネジメント

・IT・DX戦略

全社へのAI導入に伴い、勉強会を実施し、部門ごとの業務に応じたAI活用を推進しております。AIを日常業務へ積極的に取り入れることで、業務効率と生産性の向上を図り、より付加価値の高い業務へ注力できる環境づくりを進めてまいります。

・企業価値向上

KIMOTOファームでは、有機JAS認証を取得している塩崎圃場に続き、新たな圃場での認証取得を進めており、2027年の収穫では収穫量の約半分を有機JAS認証米とすることを目標としております。環境に配慮した米づくりを通じて、地域社会や自然との共生に取り組み、企業価値の向上につなげてまいります。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

第６次中期経営計画 資料および動画のご案内

▶ 資料PDFはこちらから

https://www.kimoto.co.jp/application/files/9117/5015/1736/20262028.pdf

▶ 動画のご視聴はこちらから

https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

1　2027年３月期 第１四半期 決算について

2　高機能材料事業

3　デジタルツイン事業

4　第６次中期経営計画進捗

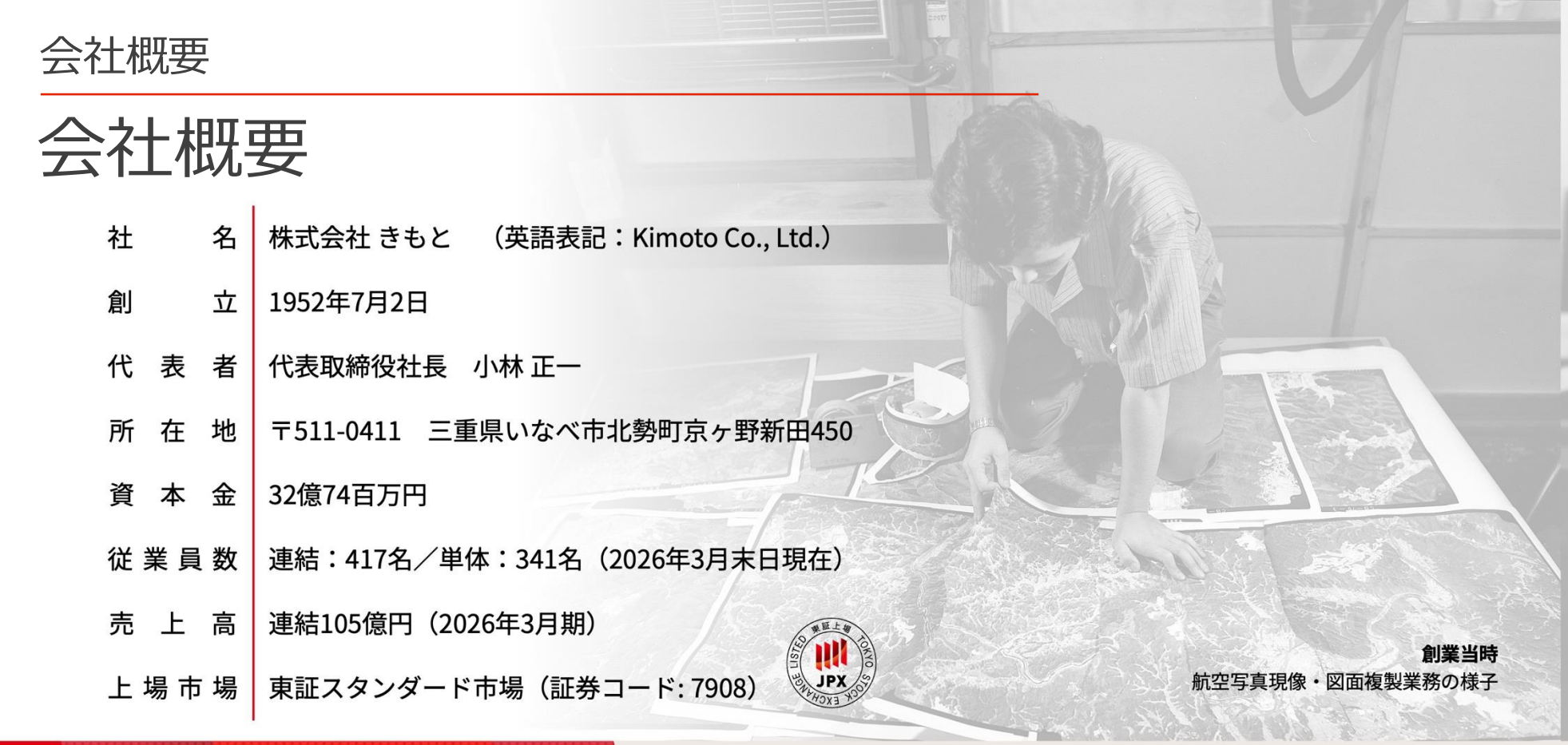
5　会社概要

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

会社概要

社　　名	株式会社 きもと　（英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創　　立	1952年7月2日
代 表 者	代表取締役社長　小林 正一
所 在 地	〒511-0411　三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資 本 金	32億74百万円
従業員数	連結：417名／単体：341名（2026年3月末日現在）
売 上 高	連結105億円（2026年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード: 7908）



創業当時
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長
木本 氏仁

おかげさまで
数々の賞と選定を
いただいております

共働き共育て Work Style Diversity 2024
令和5年度 Nextなでしこ
共働き・共育て支援企業
（経済産業省選定）

NIKKEI Smart Work ★★★½ 2026
日経サステナブル総合調査
スマートワーク経営編 3.5つ星
（日本経済新聞社）

NIKKEI Smart Work Awards 2025 中堅企業部門
日経サステナブル総合調査に
基づくスマートワーク経営に
優れた企業として選出
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等
  国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より
  国土交通大臣表彰を受賞

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

沿革

2024 技術開発を三重工場へ移管
本店移転（三重県いなべ市）
2021 株主総会早期化
2017 アメリカと日本に少量塗工機を新設
2013 本店移転（埼玉県さいたま市）
2011 三重県いなべ市で地域貢献の一環として
「きもとファーム」プロジェクトをスタート
2009 働き方改革スタート
東京証券取引所第一部指定
2006 1991 中国に「瀋陽木本數据有限公司」設立（現・データセンター）
1985 アメリカに製造工場「KIMOTO TECH,INC.」設立
1979 三重県員弁郡北勢町（現：いなべ市）に三重工場建設
1974 スイスに販売会社「KIMOTO AG」設立
1969 茨城県総和町（現：古河市）に茨城工場建設
1967 「株式会社きもと」に商号変更
1955 湿度伸縮や経年劣化に強い**「AKケント紙」を販売**
1952 **「有限会社きもと商会」創立**

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

国内・海外拠点

国内主要拠点

海外主要拠点

リモート拠点

国内 *Japan*

三重県／三重工場

コーティングマシン

塗工幅	MAX 1,600mm
塗膜厚み	0.5μm～40μm

Clean Class
作業エリア Class 1,000 ／ コーティングマシンエリア Class 1,000 ／ コーティングヘッドClass 100

茨城県／茨城工場

サンドブラストマシン

加工幅	MAX 1,300mm
加工厚み	25μm～350μm
加工粗さ	0.3μm～0.8μm

少量塗工機「APOLO」

塗工幅	MAX 300mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

海外 *Overseas*

アメリカ／ジョージア州

コーティングマシン「Line2」

塗工幅	MAX 1,550mm
塗膜厚み	MAX 100μm
塗工	ダイ、グラビア、バー

少量塗工機「LC3」

塗工幅	MAX 770mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

中国／瀋陽

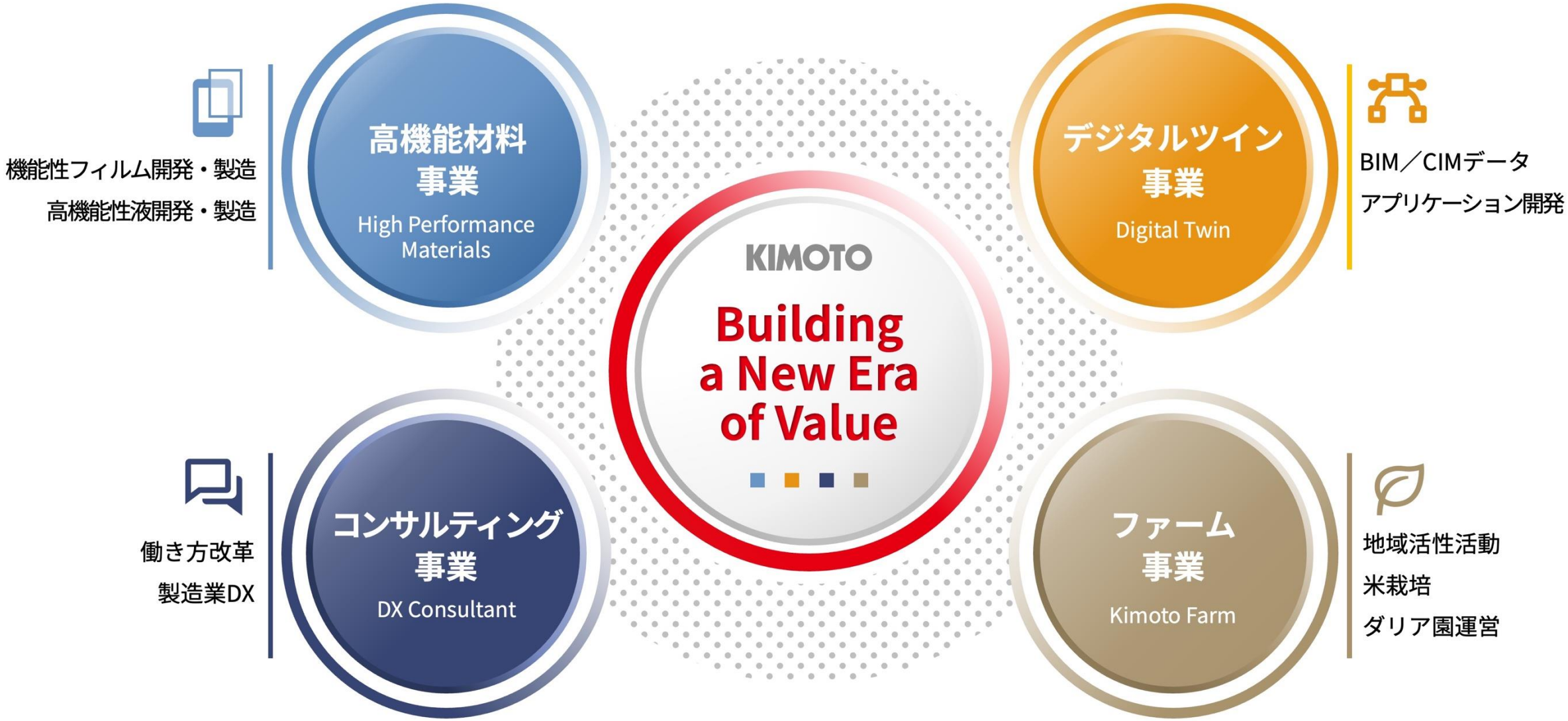
データセンター

BIM/CIMデータ作成
3Dデータ作成
製造業DX向けデータ作成
アプリケーション開発

KIMOTO

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

事業内容



Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved

KIMOTO

つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性がございます。

Copyright © 2026, Kimoto Co., Ltd. All rights reserved